

令和8年度 偕楽荘空調設備改修工事

図面リスト

図面No	
M-00	付近見取図、工事箇所図
M-01	機械設備 特記仕様書
M-02	空調設備 既存2階平面図
M-03	空調設備 既存PH階平面図
M-04	空調設備 改修2階平面図
M-05	空調設備 改修PH階平面図

いの町

株式会社 ライト岡田設計

機 械 設 備 特 記 仕 様 書

工事名称

令和8年度 借家荘空調設備改修工事

設計年度(設計図)

2026年度

工事期間(完成図)

年 月 日～ 年 月 日

I

共通事項

種目

項目

特記仕様

(●印をつけたものを適用する)

一般仕様

仕

般

共

通

様

残土処分埋設深さ(管上)埋設管の保護コンクリート工事ノ骨材はつり工事中間配管の支持スリーブ適用仕様

○構外搬出 ○構内敷ならし ○構内指示の場所にたいせき
○一般敷地300mm以上 ○車道通路600mm以上 ○公道800mm以上 ○公道1,000mm以上 ○公道1,200mm以上。
○埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。
○本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する。
●既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
○一階土間コンクリート下部配管はステンレス吊りボルトにてスラブ筋に支持する。
○国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分は「か」付鋼管「B」等。地中部分で水密を要しない部分はVP2「P」、柱、梁以外の箇所て、開口補強が不要でスラブ厚200mm以下は板スラブ でもよい。) ●特記なき事項は「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事情 最新版)」(但し改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事情 最新版)」及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事情 最新版)」による。
●国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 「工事写真の撮り方(改訂第2版) 建築設備編」
○国土交通省仕様 ●メーカー仕様
●屋外及びビッド内配管の支持金物・吊り金物はSUS製又は亜鉛メッキとする。機器固定ナットはワッパ又は2重ナットとする。 ○ 共用区画の消防検査受検必要
●「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官庁官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。
建物の種別： ○特定の施設 ●一般の施設 地域係数： ○1.0 ●0.9
1)設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。
特記なき場合の設計用標準水平震度は次にによる。

機器類その他耐震措置

建設副産物技能士の適用完成図の提出方法

2)設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
○ 7777777、7777777路盤は原則として再生品を使用する。 ○ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生カラザンを使用する。(7777777再生品混じりは不可)
○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁工(保温工事) ○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○ 冷凍空気調和機器施工 ○ その他ー
● CADデータを一CD-R保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ A4版黒表紙本文資料 第1部 ● 2ツ折りA3版製本 第1部

配管

① 配管用炭素鋼鋼管【SGP黒管】(JIS G 3452) ⑬ 外面被覆鋼管【M】(JIS H 3330) ⑮ 鉛管(HASS 203)

② 配管用炭素鋼鋼管【SGP白管】(JIS G 3452) ⑭ 水道用硬質塩化ビニル管【WVP】(JIS K 6742) ⑯ 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741)

③ 水道用硬質塩化ビニル管【SGP-V】(JWWA K 116-WSP 011) ⑰ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管【HIVP】(JIS K 6742) ⑱ 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741)

④ 水道用内外面硬質塩化ビニル管【SGP-VD】(JWWA K 116) ⑲ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管【RR-VP】(JWWA K 127) ⑳ 耐火二層ビニル管【内管VP】

⑤ 水道用ポリエチレン粉体ラミネート鋼管【SGP-PA】(JWWA K 132-WSP 039) ㉑ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管【RR-HIVP】(JWWA K 129) ㉒ 卵形管【O-4YK】(JAWAS K-3)

⑥ ポリエチレン外面被覆鋼管【黒管】 ㉓ たま管(JIS A 5372) ㉔ 冷媒用被覆鋼管

⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管【SGP-HVA】(JWWA K 140) ㉕ 耐熱性硬質塩化ビニル管【HTVP】(JIS K 6776) ㉖ 塩化ビニル外面被覆鋼管【ガス・フレグラー・内管 JIS G 3452】

⑧ 内外面耐熱性硬質塩化ビニル管【SGP-WHTLP】 ㉗ 架橋ポリアレタン管(JIS K 6769) ㉘ 冷媒用被覆鋼管

⑨ 一般配管用ステンレス鋼鋼管【SUS 304 TPD】(JIS G 3448) ㉙ ナリテン管(JIS K 6778) ㉚ ガス用ポリエチレン管(JIS K 6774)

⑩ 配管用ステンレス鋼鋼管(JIS G 3459) ㉛ 排水用硬質塩化ビニル管【D-VA】(WSP 042) ㉜ 保温付ドレンパイプ

⑪ 水道用ポリプロピレン鋼鋼管(JWWA K 113) ㉝ 排水用ケラミック塗装鋼管【SGP-TA】(WSP 032) ㉞ -

⑫ 鋼管【M】(JIS H 3300) ㉟ 排水用鉄鋼管【円形・角形2種管】(JIS G 5525) ㊀ -

重要機器
防火機器
火を使用する機器
タンク類
消火設備機器

材料

管工程・場所 屋内一般 屋内ビッド 屋内コクリ 屋内土中 屋外埋設 屋外架空

種別 給水(直圧) 給水(一般) 汚水 雑排水 区画 分 汚水

使用区分

管工程・場所 屋内一般 屋内ビッド 屋内コクリ 屋内土中 屋外埋設 屋外架空

種別 ガス 給湯 冷媒 区画 ドレン 分

塗装防食

○亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライム)を施す。
○鋼管・鉛管のコンクリート内配管にはブラフスケッチャー 1/2ね回1回巻きとする。
○土中埋設する鉄鋼管、鉄鋳異形管(角型継手共)及び特殊継手類はポリエチレン管とする。

保防温露

工種・場所 屋内露出 機械室・倉庫 天井・PS内 床下暗渠内 屋外露出 屋外埋設

給水 a2()VII b()VII c2()VII d()VII e2()VII ()

排水・空調ドレン a()VII b()VII c2()VII d()I e2()I ()

給湯 a()I b()I c2()I d()I e2()I ()

冷媒管 (チ) + ガラス繊維板 (チ) (チ) (チ) (チ) + SUS7777777 屋内露出：指定色塗装

矩形ダクト J1()IX J1()IX I()IX I()IX K3()IX P3()IX

角形ダクト O1()IX N()IX N()IX

表示

注：保温外装にWGシート又はアインバーンを使用する場合は、厚さ0.5mm以上とし、屋外に使用する場合は7777777(0.4mm)を下地に入れること。並みガラス外装に使用する場合は 厚さ2mm以上とする。
○ 機械室、PSの配管には流体種別・流れ方向を明示し、并には常時開閉を記入した7777777プレートを取り付ける。 ○ 配管の埋戻し時は、6L~200mm程度に埋設表示用7777777を埋設する。(排水・通気管を除く)
○ 排水以外の屋外埋設管には曲部・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように表示板(柱)を取り付ける。 ○ 平角BOX内部に系統名・管径・設置年を書いた7777777を入れる。(制水弁はハンドルを納入)

別途工事発生料

●スリーブ、箱入れの補強筋 ○ガラル ○点検口
●天井および壁貫通に対する下地補強 ○プロハンボンベ庫 ○

公共建築工事標準仕様書1.3.6による。
○引渡しを要するもの()
○現場において再利用を図るもの()

特別管理産業廃棄物() 処理方法()
○再生資源化を図るもの コンクリート塊 7777777コンクリート塊 建設発生木材 廃炭石膏ボード等は原則分別再利用処理とする。

室内空気汚染対策

●対象建築材料等
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材
F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
②塗料
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。
③木材保存剤(防虫処理、防蟻処理等)
クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤
1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする。
2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブの有無または成分については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、室内に關する材料 (上記①～⑤及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤等も含む) については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブの有無または成分については一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。
⑤家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台
①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。

Ⅱ 工事種目	● 空気調和・換気設備	計測機器等自動空気抜き弁装置 吹出口チャンパ 消音内貼り ダクト 機器付属の制御盤 大気汚染対策	温度計()ヶ所 圧力計()ヶ所 風量測定口()ヶ所 瞬間流量計()ヶ所 手動空気抜き弁装置()ヶ所 ● 不要 ○ 要()ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 アネモ形吹出口には、チャンパ(ネック径200φ以下は400°×250H 200φをこえるものは500°×300H)を設ける。 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とする。サブライチャンパにはその上に銅きっ甲金網押えを行う。 消音材はグラスウール(吹出口チャンパ・吸込口チャンパ・レターンチャンパは25mm厚、サブライチャンパは50mm厚)とし、グラスウール押えとする。 ○ アルミフレキ(不燃材料認定品) ○ ステンレスフレキ(不燃材料認定品) ● スパイラルダクト ○ グラスフレックスダクト ○ 冷水発生機、ボイラ及び温風暖房機の壁の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。
			● 給水、排水、その他の配管設備の設置及び構造について、令第129条の2の4に適合

※ 既存図面より

既存空調機器表 撤去

記号	機器名	数量	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	消費電力		圧縮機出力 (kW)	電源	備考
					冷房時(kW)	暖房時(kW)			
ACM-4	空冷ヒートポンプ マルチエアコン室外機	1	35.5	40.0	13.88	13.80	9.52	三相200V	不明（ダイキン）
A	同上 室内機（天力セ２方向）	1	3.6	4.0	0.11	0.11		単相200V	FXYCJ36KA（ダイキン） 97/07
E	同上 室内機（天力セ２方向）	2	11.2	12.5	0.28	0.28		単相200V	FXYCJ112KA（ダイキン） 97/06
G	同上 室内機（天力セ２方向）	1	3.6	4.0	0.056	0.056		単相200V	FXYCJ36KA（ダイキン） 97/07
H	同上 室内機（天力セ１方向）	1	4.5	5.0	0.056	0.056		単相200V	FXYKJ45K（ダイキン） 97/06
I	同上 室内機（壁掛）	1	2.8	3.2	0.04	0.04		単相200V	FXYAJ28K（ダイキン） 96/08

室外機基礎：コンクリート基礎＋防振架台

冷媒ガスは、回収破壊処理をすること。

撤去機器類は運搬処分とする。

[illegible]

室外機基礎：コンクリート基礎（既存）＋防振架台（新設）

使用する各機器の承認図 を係員に提出し承認を得ること。

冷媒ガスはR410Aとする。 冷媒追加充填、試運転調整を含む。

各機器への一次側電源、2次側配線（渡り配線・リモコン線）は切り離し再接続とする。

冷媒配管は 断熱材被覆銅管とする。 ドレン配管は保温材付ドレンパイプ（V P＋化学架橋30倍発砲PEリフレン）とする。

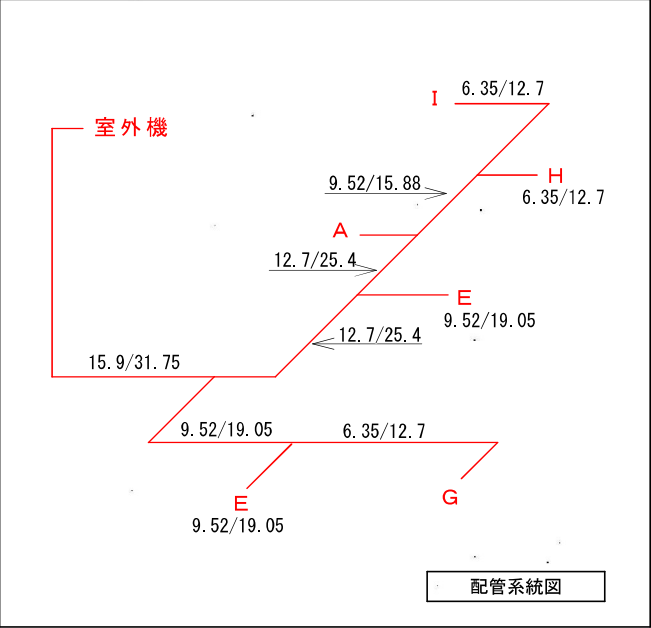
リモコンはワイヤードリモコンとし既存位置に設置（リモコン配線流用）

室内機（天井吊り）には振れ止め金具取付のこと。 天カセ2方向は天井材組込パネルとする。

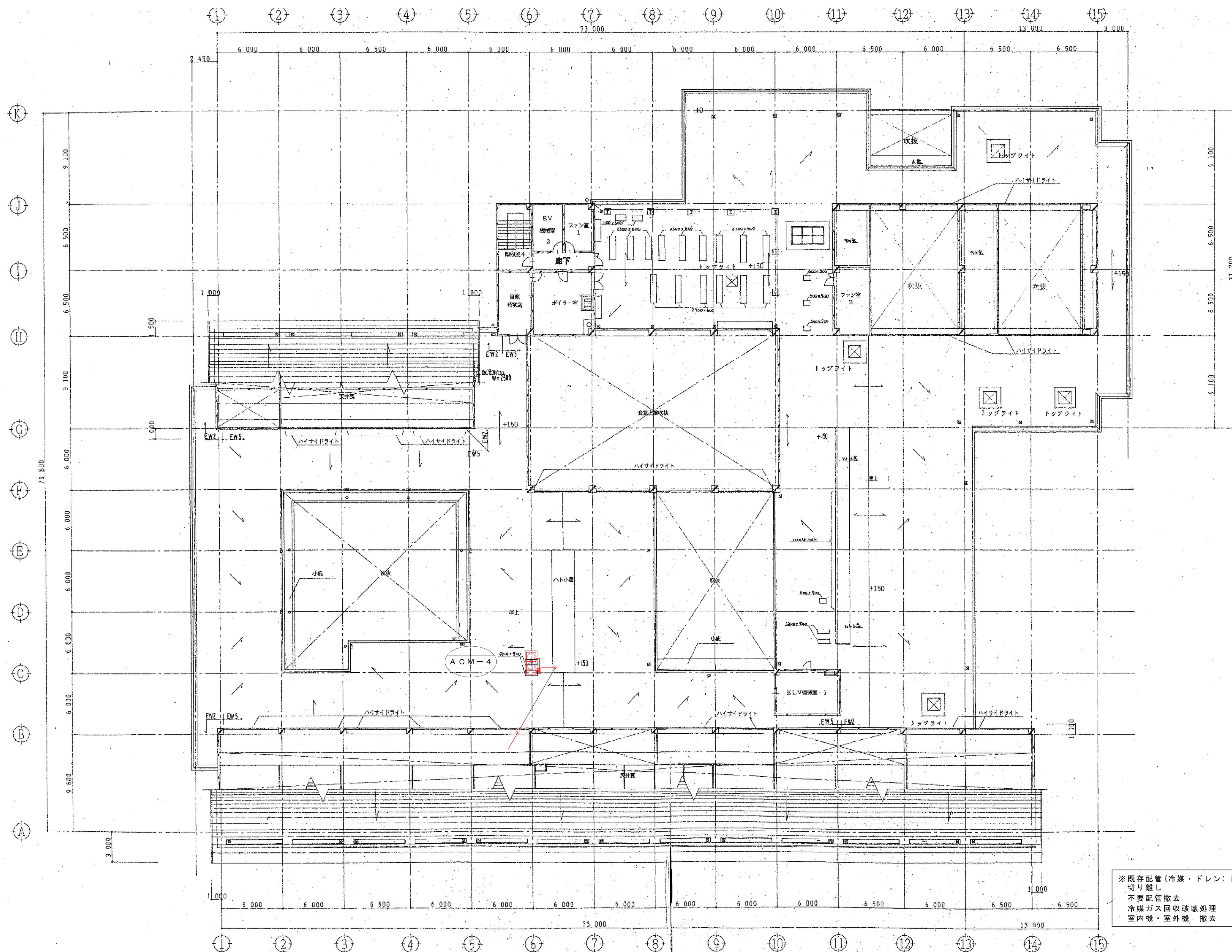
屋外露出部は 保温上 S U S ラッキング仕上げとする。 屋外部に使用する金具類は S U S 製とすること。

既存メーカーがダイキンにより他メーカーを採用した場合の変更は業者負担とする。

	工事名	令和8年度 借楽荘空調設備改修工事			NO	M-01
	図面名	機械設備 特記仕様書・機器表			SCALE	
	CHECKED BY		DRAWN BY		一級建築士大臣登録第292355号 岡田良嗣	



一級建築士大臣登録第292355号 岡田良嗣



※既存配管(冷媒・ドレン) 配線(電源・リモコン・渡り配線)
切り離し
不要配管撤去
冷媒ガス回収破壊処理
室内機・室外機 撤去

工事名 令和8年度 借楽荘空調設備改修工事

図面名 空調設備 既存PH階平面図

CHECKED BY

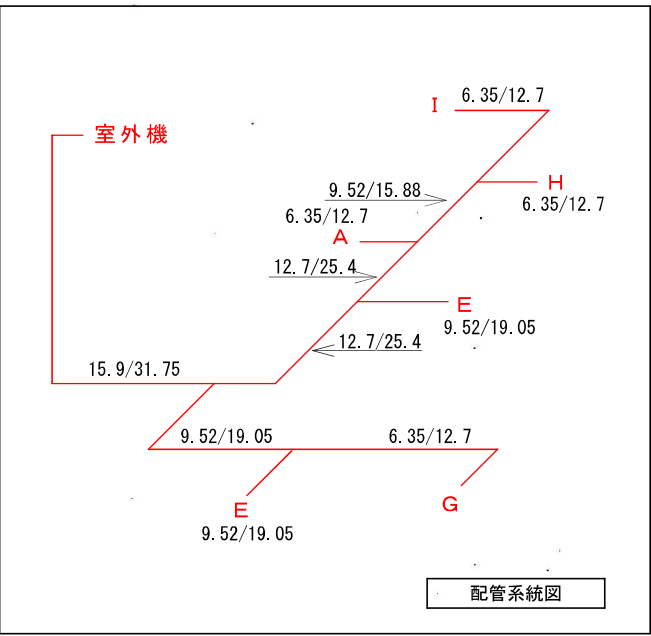
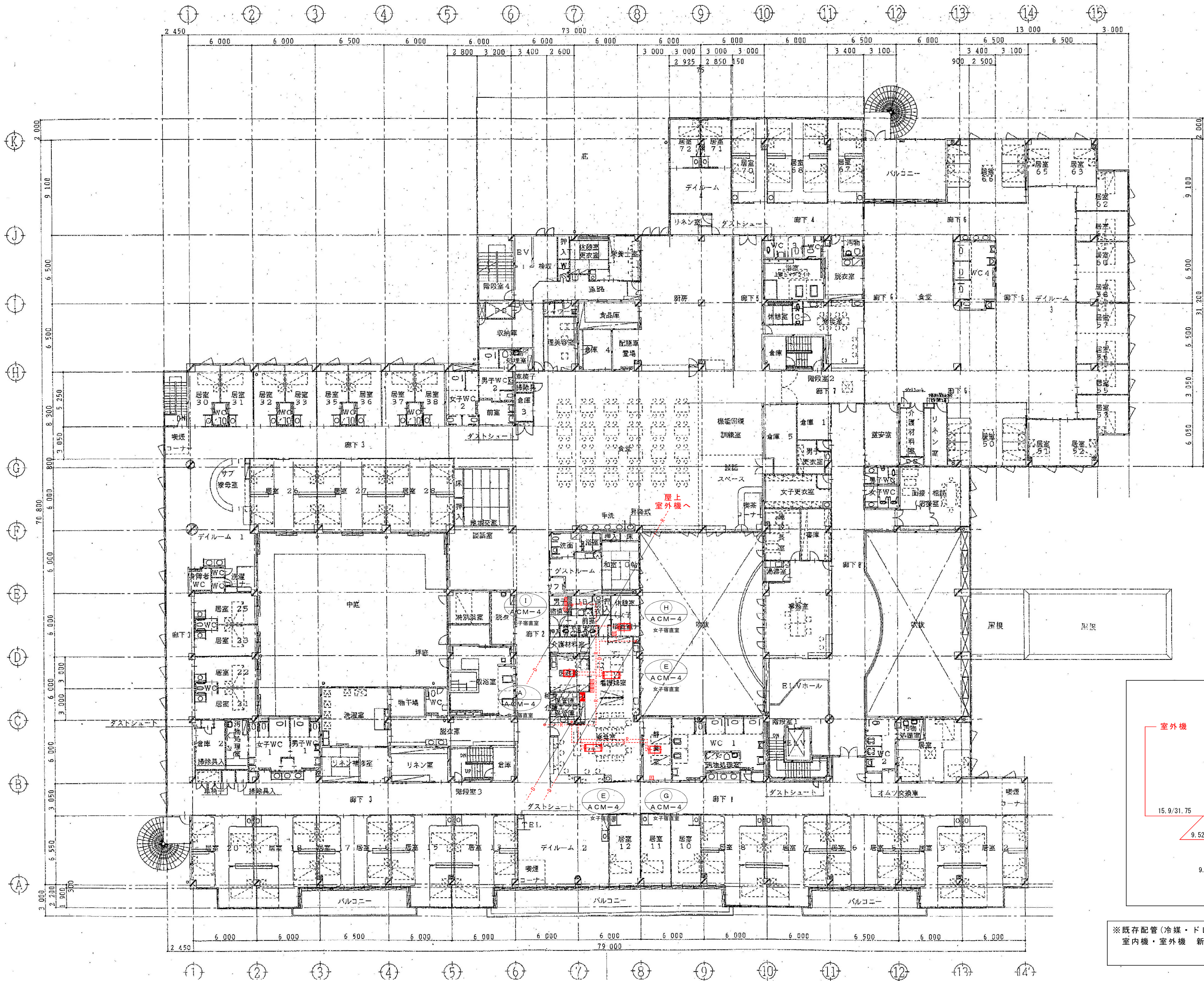
DRAWN BY

NO M-03

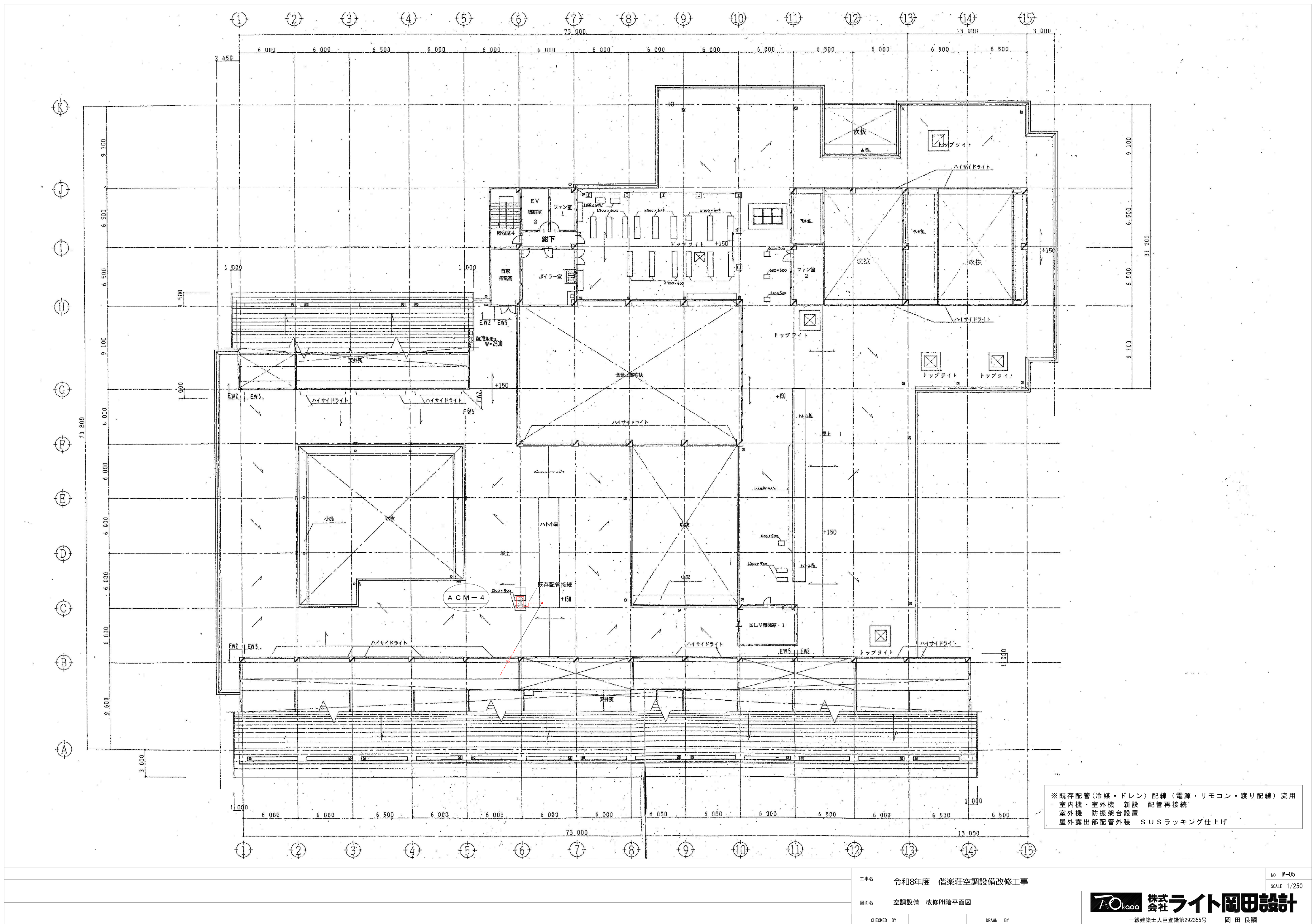
SCALE 1/250

株式会社 ライト岡田設計

一級建築士大臣登録第292355号 岡田 良嗣



※既存配管(冷媒・ドレン)配線(電源・リモコン・渡り配線)流用
室内機・室外機 新設 配管、配線再接続



工事名 令和8年度 借楽荘空調設備改修工事

図面名 空調設備 改修PH階平面図

CHECKED BY

DRAWN BY

NO M-05

SCALE 1/250

株式会社 ライト岡田設計

一級建築士大臣登録第292355号 岡田 良嗣